

開き戸用

ドアクローザ付きドア 使用上のご注意

※この説明書には扉の調整方法が記載されています。
必ずお施主様にこの説明書をお渡しください。

- 日頃より、弊社製品のご愛顧をいただき、誠に有難うございます。
ドアクローザ付きドアを末永くご使用いただく為、使用上の注意についてのお願いを申し上げます。

1. 日常の開閉について

ドアがクローザにより自動で閉まるときに、無理に閉めないで下さい。

※扉が枠に当たったり、丁番を傷めたりする原因になります。

2. ドアの閉じ速度の調整

閉じ速度は工場出荷時に適正な速度に調整してありますが、閉まる速度が速すぎたり、遅すぎたり、十分閉まりきらない場合は、

ドア閉じ速度を5秒以内の適正な速度に調整して下さい。

※閉じ速度を遅くしすぎると、丁番を傷める原因になりますのでおやめ下さい。

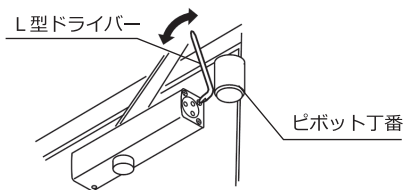
※ドア閉じ速度は気温によって変化します。

※調整弁をゆるめすぎると、調整弁が外れ油漏れを起こす原因となります。

※速度調整の際、電動ドライバーは故障の原因となりますので使用しないで下さい。

調整方法は、別紙 取付説明書を参照ください。

※ドアクローザ標準型とピボット丁番を併用の場合は、右図のように、同梱のL型ドライバーをご使用ください。



3. ストップ装置について (ストップ機能付きの場合)

※風がある状態でストップ状態にしないで下さい。

無理な力をかけて閉じると同じ状態となり、丁番を傷める原因になります。

※ストップ装置の働く角度は、製品によって若干異なります

※ストップ装置が機能しないように設定することはできません。

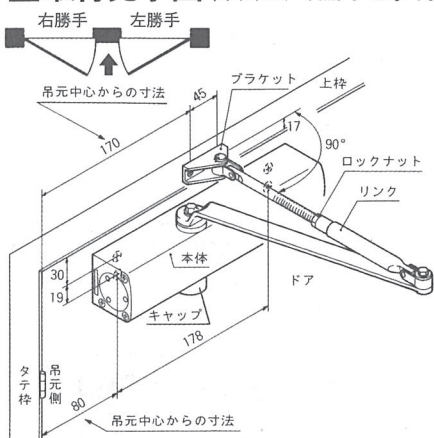
引き続き、DAIKEN製品の末永いご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

RYOBI ドアクローザ 20シリーズ取付説明書

スタンダード型 ストップなし		内装式ストップ付
バックチェックなし	バックチェック付	
21・22・23	B-22(N)・B-23(N)	S-121・S-122

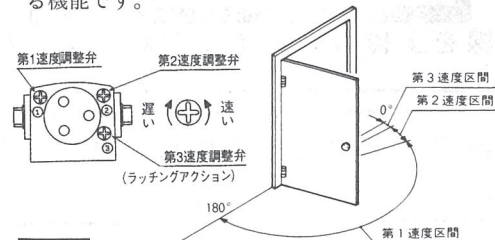
- このドアクローザの速度調整は3速個別式で、第3速度はラッチングアクションとなっています。
- このドアクローザは取付板に複数の穴を採用した事で、当社既存品（61.62.タイプ）との取替えが便利になっています。

■取付完了図（本図は、右勝手を示す。）



■ドア閉じ速度の調整

- 調整は、第1速度、第2速度、第3速度（ラッチングアクション）の順に行ってください。
- 第3速度（ラッチングアクション）は、ドアが閉鎖位置手前2°付近まで来た時点で素早く閉める機能です。

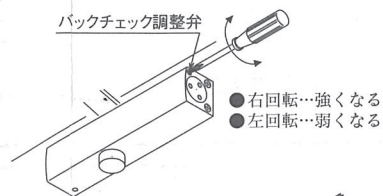


注意

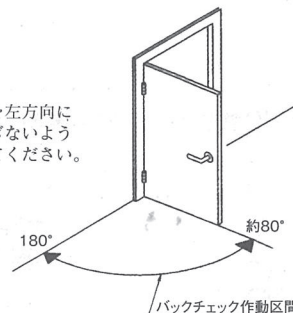
- 速度調整弁は合成樹脂でできていますので、ドライバーの先端を調整溝に確実に合わせて調整してください。無理に回すと溝が破損する恐れがあります。
- 第3速度は、ドアを素早く閉める機能ですので、第2速度より遅くすることはできません。
- 調整弁は、ゆるめすぎないように注意してください。ゆるめすぎると弁が抜け、油がモレます。

■バックチェックの調整

ドアの開き方向で、風などによる急激な開扉を油圧により制御します。

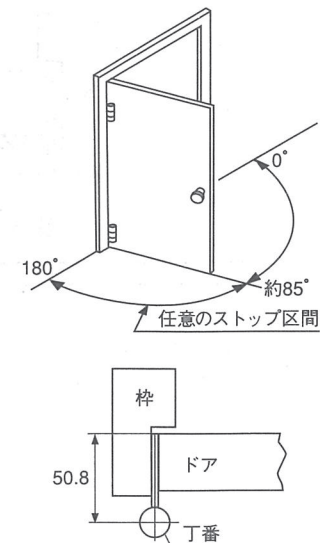


※調整弁を左方向に回し過ぎないように注意してください。



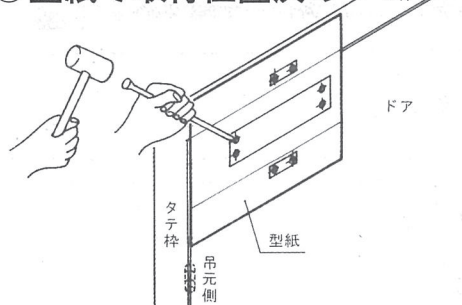
■内装式ストップ装置

- ドアを約85°開くとストップ装置が働いて、ドアは開いたままになります。約85°～180°の間では、任意の角度でドアは開いたままで止まります。ドアを閉じる場合は、約85°の位置まで押せばストップが解除され自動的に閉まります。
- ストップ角度は、右図の持出寸法で設定していますので、この持出寸法が変わることでストップ角度も若干変化します。



■取付順序（本図は、右勝手を示す。）

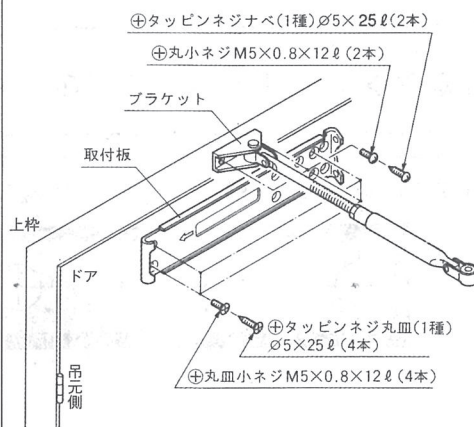
①型紙で取付位置決め



裏面の型紙を利用し、ポンチなどでドアに4ヶ所、上枠に2ヶ所の取付け位置を決め、取付穴を下記のネジに合わせ加工してください。

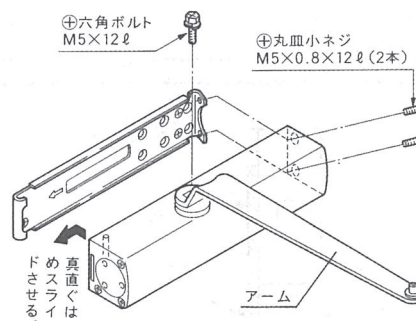
ドア・上枠の材質	取付ネジ
アルミ・鋼製	ドア ⊕丸皿小ネジM5×0.8×12ℓ
	上枠 ⊕丸小ネジM5×0.8×12ℓ
木製	ドア ⊕タッピンネジ丸皿(1種)φ5×25ℓ
	上枠 ⊕タッピンネジナベ(1種)φ5×25ℓ

②ブラケットと取付板の取付け



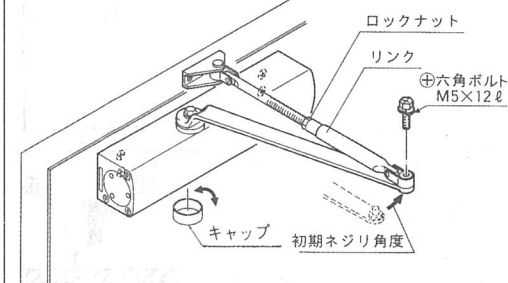
- 取付板は ← 印方向を吊元側に向けて取付けてください。

③ピニオン軸にアームを組付け後、本体を取付板に取付け



- アーム組付用六角ボルトをしっかり、締付けてください。しっかり締付けされていないと故障の原因になります。

④アームとリンクを結合



リンクがドア面に垂直になるようにリンクの長さを調節した後、アームに結合し、ロックナットを締め付けてください。キャップ組付け後は、キャップを左右いずれかに回して、固くなる位置で止めてください。

注意

- 初期ネジリ角度が大きくなりすぎると第3速度区間がなくなります。

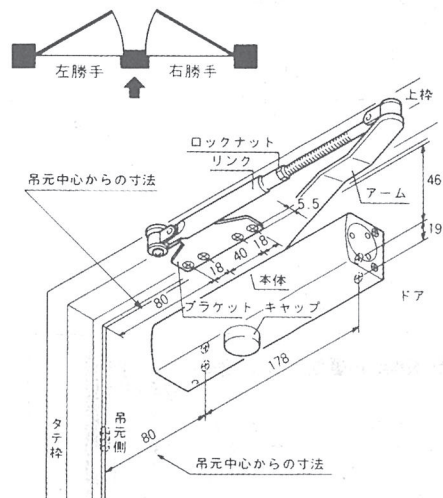
リョービ株式会社

RYOBI ドアクローザ 20シリーズ取付説明書

パラレル型 ストップなし		内装式ストップ付
バックチェックなし	バックチェック付	
21PD・22PD・23PD	B-22PD(N)・B-23PD(N)	S-121PD・S-122PD

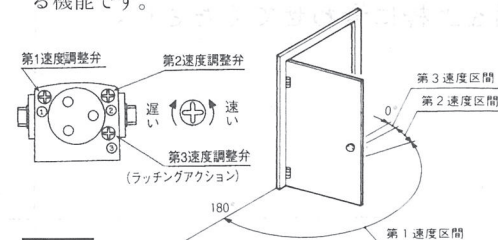
- このドアクローザの速度調整は3速個別式で、第3速度はラッチングアクションとなっています。
- このドアクローザは取付板に複数の穴を採用した事で、当社既存品（61.62.702Pタイプ）との取替えが便利になっています。

■取付完了図（本図は、左勝手を示す。）



■ドア閉じ速度の調整

- 調整は、第1速度、第2速度、第3速度（ラッチングアクション）の順に行ってください。
- 第3速度（ラッチングアクション）は、ドアが閉鎖位置手前2°付近まできた時点で素早く閉める機能です。

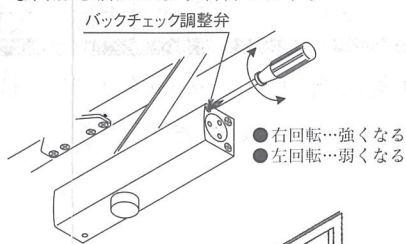


注意

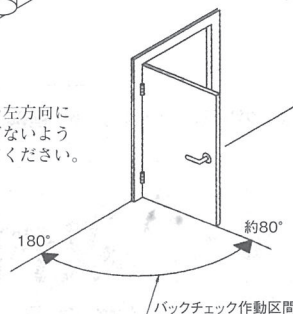
- 速度調整弁は合成樹脂でできていますので、ドライバーの先端を調整溝に確実に合わせて調整してください。無理に回すと溝が破損する恐れがあります。
- 第3速度は、ドアを素早く閉める機能ですので、第2速度より遅くすることはできません。
- 調整弁は、ゆるめすぎないように注意してください。ゆるめすぎると弁が抜け、油がモレます。

■バックチェックの調整

ドアの開き方向で、風などによる急激な開扉を油圧により制御します。

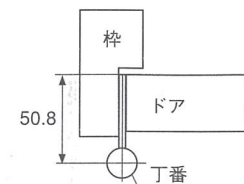
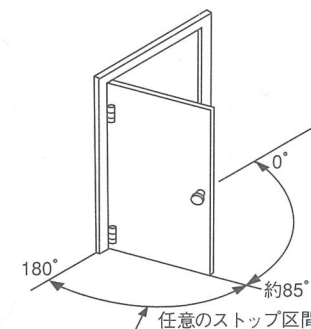


※調整弁を左方向に回し過ぎないように注意してください。



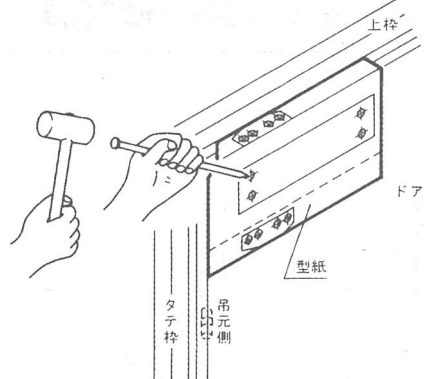
■内装式ストップ装置

- ドアを約85°開くとストップ装置が働いて、ドアは開いたままになります。約85°~180°の間では、任意の角度でドアは開いたままです。ドアを閉じる場合は、約85°の位置まで押せばストップが解除され自動的に閉まります。
- ストップ角度は、右図の持寸法で設定していますので、この持寸法が変わることでストップ角度も若干変化します。



■取付順序（本図は、左勝手を示す。）

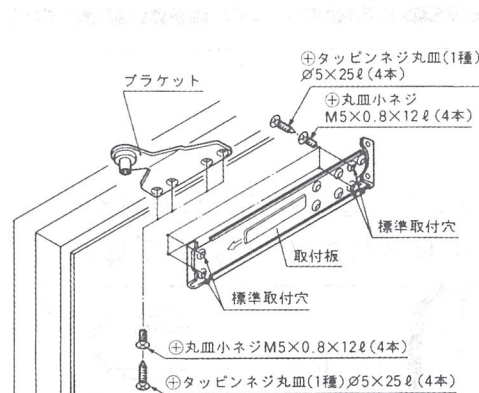
①型紙で取付位置決め



裏面の型紙を利用し、ポンチなどでドア、上枠に各4ヶ所の取付け位置を決め、取付穴を下記のネジに合わせ加工してください。

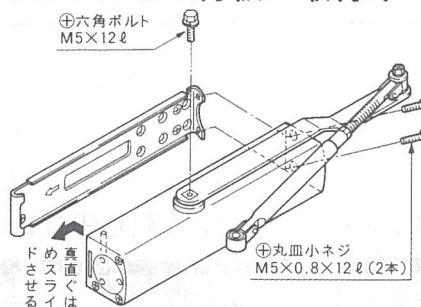
ドア・上枠の材質	取付ネジ
アルミ・鋼製	⊕丸皿小ネジM5×0.8×12ℓ
木製	⊕タッピンネジ丸皿(1種)φ5×25ℓ

②ブラケットと取付板の取付け



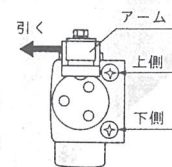
- 取付板は←印方向を吊元側に向けて取付けてください。
- 取付板の標準取付穴以外は、既存品との取り替え時に使用する穴です。（詳細は裏面の型紙を参照ください。）

③ピニオン軸にアームを組付け後、本体を取付板に取付け

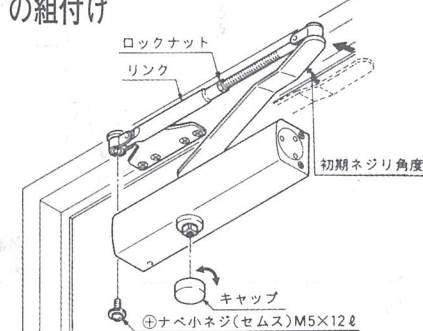


- アーム締付用六角ボルトをしっかり、締付けてください。しっかり締付けされていないと故障の原因になります。

- 本体のネジ止めは、先に下側をネジ止めし、その後アームを手前に引いて上側をネジ止めしてください。



④ブラケットとリンクを結合、キャップの組付け



リンクがドア面に平行になるようにリンクの長さを調節した後、ブラケットに結合し、ロックナットを締め付けてください。キャップは組付け後、左右いずれかに回して、固くなる位置で止めてください。

注意

初期ネジリ角度が大きくなりすぎると第3速度区間がなくなります。

リョービ株式会社

ドアクローザ取扱説明書

お願い

- 取付けをされる業者の皆様へ
本書は必ず御施主様、御入居者様または管理者様へお渡しください。
- 御施主様・御入居者様・管理者様へ
当社商品をお買い上げいただきありがとうございます。
商品を正しくご使用いただくために、この「ドアクローザ取扱説明書」をよくお読みください。
いつでもお読みになれるように大切に保管してください。

1. ドアクローザの機能説明とお願い

- この商品は、ドアを自動的に閉じるためのもので、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。
季節の温度変化や窓などの開閉によって、誘発される屋内の気圧の変化などにより、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなるとけがをすることがありますのでご注意ください。
ドアの閉じる速度は、速度調整弁によりコントロールすることができますので、裏面に記載した方法で調整してください。また、閉じかけているドアを閉じる方向に強く押し引いたりしないでください。強制的な閉扉操作はドアクローザ本体内部の油が漏れたりして、閉扉速度が調整不能となる原因になります。
- ドアクローザ本体から油が漏れたり、部品が破損した場合には、まず、お取り扱いの建築会社様、工務店様または販売店様に交換依頼をしてください。放置しておくと、閉扉スピードのコントロールが効かなくなり事故につながるおそれがあります。
- ドアクローザは分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬけがをしたり、正しく組み立て直すことができなくなります。

2. お手入れ方法

- 本体およびアームなどの取付ネジに緩みが生じていないか時々点検してください。緩んでいた場合はネジを締め直してください。
- 腐食予防のために本体およびアームは時々掃除をしてください。また、結露が生じた場合は乾いた布で拭いてください。

3. 異常を感じられた際の対処方法（調整が難しい場合には、まず、お取り扱いの建築会社様、工務店様または販売店様にお問い合わせください。）

現象	考えられる原因	点検箇所	対処方法
ドアの閉じる速度が徐々に速くまたは遅くなった	⇒ 季節の温度変化など	⇒ 速度調整弁	⇒ 速度調整方法を参照願います
ドアの閉じる速度が急に速くなった	⇒ 油漏れ	⇒ ドアクローザ本体	⇒ まず、お取り扱いの建築会社様、工務店様または販売店様に交換依頼願います
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	⇒ 油の流れが悪い	⇒ 速度調整弁	⇒ 速度調整方法を参照願います
閉じる際「バタン」と大きな音がするようになった	⇒ ネジの緩み	⇒ 取付ネジ	⇒ ネジを締め付けてください
	⇒ 油漏れ	⇒ ドアクローザ本体	⇒ まず、お取り扱いの建築会社様、工務店様または販売店様に交換依頼願います
ドアが所定の開放停止位置で止まらなくなった(ストップ付き)	⇒ ラッチング機能が強すぎる	⇒ ラッチング調整弁	⇒ ラッチング調整弁の調整方法を参照願います
	⇒ ストップネジの緩み	⇒ ストップ装置	⇒ ストップ角度調整方法を参照願います
ドアがスムーズに閉まらなくなったり異音が生じるようになった	⇒ ネジの緩み	⇒ 取付ネジ	⇒ ネジを締め付けてください
	⇒ 1・2速のバランスが悪い	⇒ 速度調整弁	⇒ 速度調整方法を参照願います

リョービ株式会社

平成13年 8月 制定
平成18年 6月 改訂

札幌 〒062-0937 札幌市豊平区平岸7条14-3-48 ☎(011)811-8232
 仙台 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町4-2-38 ☎(022)237-6201
 東京 〒114-8518 東京都北区豊島5-2-8 ☎(03)3927-5533
 富山 〒939-8214 富山市黒崎2-3-2 ☎(076)493-2225

名古屋 〒468-0034 名古屋市天白区久方1-145-1 ☎(052)807-1643
 大阪 〒569-1135 大阪府高槻市今城町24-12 ☎(072)685-1113
 広島 〒736-0082 広島市安芸区船越南3-7-29 ☎(082)823-0028
 福岡 〒811-2305 福岡県糟屋郡粕屋町柚須107-1 ☎(092)623-5000

取付けをされる業者の皆様へ
 本書は必ず御施主様、御入居者様または管理者様へお渡しください。
 取付に関しては別紙(取付説明書)を参照してください。

ドアクローザ取扱説明書

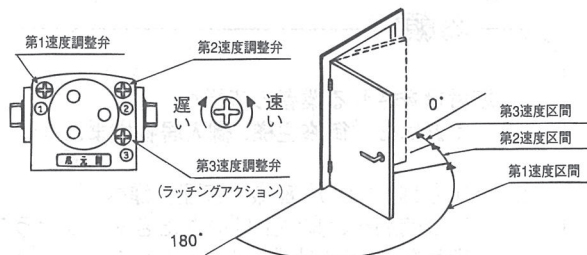
調整方法

ドア閉じ速度(スピード)調整方法

- ・第1速度、第2速度をそれぞれ独立した速度調整弁を操作することによって、任意のスピードに調整することができます。
- ・第3速度(ラッチングアクション)はドアが閉鎖位置手前2'付近まで来た時点で素早く閉める機能です。
- ・調整は、第1速度、第2速度、第3速度の順に行ってください。
- ・ドア開き角度90°からドアが閉じきるまで、5~8秒が適正です。

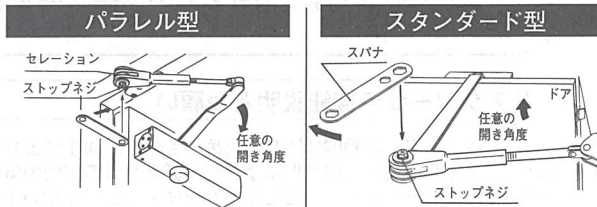
注意

- ・速度調整弁は合成樹脂で出来ていますので、ドライバーの先端を調整溝に確実に合わせて調整しないと溝が破損する恐れがあります。
- ・第3速度は、第2速度より遅くすることはできません。
- ・調整弁は、ゆるめすぎないように注意してください。ゆるめすぎると弁が抜け油がモレます。



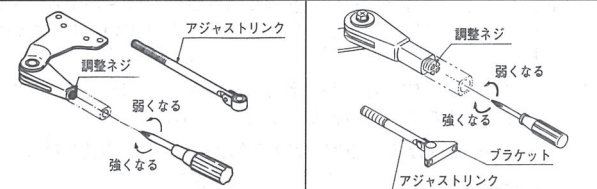
ストップ角度の調整方法

- ・ドアをストップさせる角度まで開き、ストップネジをスパナできつく締め付けてください。
- ・締め付ける時はストップ装置のセレーション部のかみ合いを確認してください。
- ・ドアをゆすりながら締め付けると効果的です。



ストップ保持力の調整方法

- ・ストップ保持力はあらかじめ工場調整を行っています。
 - ・調整が必要な場合はアジャストリンクをはずし、調整ネジをまわしてください。
 - ・右回転……強くなります。
 - ・左回転……弱くなります。
- ※調整ネジは左右1回転以上回さないでください。故障の原因になります。



ドアクローザ商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。
 保証期間中に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店様、工務店様、販売店様または最寄りの当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

保証期間

- 施工者よりの引き渡し日(注1)(注2)から開き戸用、引戸用共2年間(電装部品は1年間)。
 (注1) 改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。
 (注2) 分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

保証内容

取扱説明書またはその他の記載事項に基づく適正な使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。ただし、本来の使用目的以外の用途に使用された場合は保証の対象にはなりません。

免責事項

- 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理になります。
- ① 施工要領書などに基づかない施工の不備に起因する不具合
 - ② 商品の性能または適用範囲(ドアの重量、サイズ、開閉回数など)を越えたドアの使用または越えた場所に取り付けられたことに起因する不具合
 - ③ 窓の開閉などによって誘発される屋内の気圧の変化に起因する不具合
 - ④ 建築躯体の変形などに起因する不具合
 - ⑤ 結露及び雨がかりによる錆、カビ、変色、腐食などの不具合
 - ⑥ 商品または部品の経年変化(使用頻度が高いことに伴う著しい消耗、摩耗など)や経年劣化(使用頻度が高いことに伴うゴム部品・樹脂部品の変質、変形、変色など)またはこれらに伴うドア開放時の停止不能などの不具合
 - ⑦ 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食またはその他の不具合
 (例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
 - ⑧ 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など)に起因する不具合
 - ⑨ 引き渡し後のドアの操作誤り、ドアクローザの調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
 - ⑩ お客様自身の修理、改造などに起因する不具合
 - ⑪ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とします。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、その他についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。